



ななほ 市民の友

広報

第768号毎月1回発行
2015年(平成27年)

1月

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2014(平成26)年11月末現在	
総人口	323,075 (2,874)
男	156,462 (1,632)
女	166,613 (1,242)
世帯数	144,208 (1,716)

発行：那覇市
編集：秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎(代表)867-0111
印刷：有限会社サン印刷



ものづくりの卓越した技能者を表彰する「現代の名工」。

毎年全国の150名ほどの技能者に厚生労働大臣から授与されています。

平成26年度「現代の名工」に選ばれた熊谷フサ子さん(泊在)は、「和服のように世代を超えて琉服を着用してほしい」との思いから、琉服から和服への仕立て替えを考案し、その技術が評価されました。

そんな熊谷さんに、受賞された感想や和裁への思い、今後の抱負に至るまで城間市長と語り合っていました。

新春対談

那覇市長
城間 幹子

現代の名工

熊谷 フサ子さん



城間幹子市長(以下市長)

熊谷さん、今回の受賞おめでとうございます。那覇市から熊谷さまのような「現代の名工」が選ばれたことを本当にすばらしく誇りに思います。

熊谷フサ子さん(以下熊谷)

ありがとうございます。「現代の名工」の名に恥じないようもっと精進し、みなさんの励みになればと思っています。

「縫い」を教育現場に

熊谷 今、学校で手縫いをするのはほとんどゼロに近いのが実情です。「運針(うんしん)」という言葉を知らない子どもたちや、先生方の中にも知らないという方がいます。一昨年、中学校での運針の普及のため、県中学校校長会へ要望書とDVD(「うんしんてしんなあに」)を寄贈いたしました。

さらに、直接指導やサポートも申し出たのですが、手を挙げていただいた学校は1校もありませんでした(苦笑)。「今はミシンがあるから」という言葉を聞くことがあります。まだまだ私たちのPRが足りないなと感じています。

市長 私が小学生の時には運針の練習をして雑巾を縫ったり、中学の時には、ひと針ひと針を大切に浴衣を縫ったことを覚えています。今は学校現場から針が消えたとも言われています。しかし、熊谷さまのような方々の活躍により縫いの良さがもう一度見直され、開けていくと思います。熊谷さまには、その門戸をぜひ叩いていただきたいと思います。

熊谷さまにとって「手縫いの良さ」はどういうところにありますか？

熊谷 やはり、縫い替えができるというところですね。私の場合、和服が主ではあったのですが、県外の方から琉服の質問をされたことがきっかけで、そこから琉服の勉強を始めました。今回受賞したのも琉服を和服に変える、和服から琉服に変える、両方に縫い替えができるという手縫いの良さを考案したことが評価されたのだと思います。

後進の育成について

市長 私はずっと教育に関わってきましたが、どの分野においても人材育成は大切だと常に感じています。子どもの段階から、周りの大人が期待をかけすぎないように、その子の興味、関心を伸ばしてあげなければいけない、それが大人の責務だと思っています。

熊谷 最近は食育という言葉も出てきましたが、「衣育」にも目を向けていただき、将来の職業の選択の幅も広がっていただきたいですね。手先の訓練には一番中学時代がよいと言われています。そういった意味でも中学教育にぜひ運針を取り入れていただきたいと思っています。

市長 ぜひとも、手縫いの良さを「現代の名工」の熊谷さんから発信いただき、一つの伝統文化にしていきたいと思います。そのためにも後継者の育成にも力を注がれてください。



主な紙面	
●新春対談	●ニュースダイジャスト
●城間市長×熊谷フサ子さん	●新春企画 お水取りと若水
●ヘルストリビューン	●そうだ 商店街へ行こう
●ほけんインフォメーション	●情報バック
●あなたのその悩み	●協働さん/博物館トピックス/
●人権侵害かも/環境トピック	●うちなーぐちやあじくーたー
4	9
12	11
	5
	6
	7
	8

「ひとつなぐまち」

2015

ハイタイ！ イイソーグワチデービル(こんにちは！ 良いお正月ですね)。

昨年11月に第32代那覇市長に就任し、目指す市政運営を「ひとつなぐまち」という言葉で表現しております。

那覇市には、琉球王国時代より育まれてきた伝統や文化・歴史、そして共同体という絆によって培われてきた「力」、そして各分野で活躍し、縁の下で市政を支える人という「力」があります。それぞれの「力」が幾重にも線で結ばれ、多くの交わりを生み出した時、「ひとつなぐまち」という大きな面となり、より大きな力を発揮して、風格ある県都・那覇市として、さらなる高みに飛躍できると信じています。

本市は、県内唯一の中核市でもあり、県都としてフロントランナーの役割も求められています。待機児童解消、行財政改革や中心市街地の活性化など、様々な行政課題に対し、職員と市民をつなぐ「協働によるまちづくり」を軸に、さらなる市民サービスの向上にむけ、ひとつじ年の今年も「メー」杯「取り組んでまいります」。

ユタサルグトゥ ウニゲーサビラ(よろしくお願ひいたします。)

平成27年1月1日 那覇市長 城間 幹子